

通 常 総 会 開 催

初の「オンライン総会」を実施

神奈川県弁護士会新聞

発行所
神奈川県弁護士会
横浜市中区
日本大通9番地
☎045-211-7707
URL <http://www.kanaben.or.jp/>

5月28日、当会会館5階・4階会議室と県西支部会館、相模原支部会館をオンライン中継で結び、通常総会が開催された。新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにとられた初の試みであったが、支部に所属する会員にとっては移動時間の大幅な短縮につながり、総会への出席がしやすくなることから、今後同様の措置を継続すること

が期待される。また、時間短縮のため、例年口頭でも行っていた会務報告は全て書面報告とし、前年度執行部及び支部役員に対する表彰も延期された。議事進行については、全ての議案を通して先に提案理由の説明と質疑応答、意見聴取を行い、採決は後にまとめて行うという、新しいスタイルがとられた。

新型コロナ禍で一気にオンライン化が進んだ通常総会の様子

- 【第1号議案】2019年度（一般会計・特別会計）収支決算承認の件
圧倒的多数により可決承認された。
- 【第2号議案】2020年度（一般会計・特別会計）予算の件
圧倒的多数により可決承認された。
- 【第3号議案】2021年度（一般会計・特別会計）4・5月分暫定予算の件
一括審議がなされ、圧倒的多数により可決承認された。
- 【第4号議案】綱紀委員会委員、懲戒委員会委員及び予備委員、資格審査委員会及び予備委員選任の件
利害関係人を除き、圧倒的多数により可決承認された。

日弁連第71回定期総会
日時 2020年7月31日（金）12時30分～
場所 弁護士会館2階講堂「クレオ」

新型コロナウイルスに対する当会の対応

副会長 畑中 優宏

世界中に感染が拡大した新型コロナウイルスに對して、その感染拡大を防止し、利用者や会員、職員の安全を守りつつ、業務を継続するという観点から、当会においてもさまざまな対応策を取ってきた。

まず、4月7日の緊急事態宣言の発令を受け、4月8日の常議員会で災害対策本部を立ち上げ、4月10日から5月10日まで、本部会館及び支部会館を閉館することにしました。その間、当弁護士会の派遣、裁判所や自治体等との連絡、各種証明書の発行等、必要な業務に限り継続することとし、1日に出勤する職員の数

を6割程度減じ、その他は自宅待機とした。また、各法律相談センターも閉じ、コロナウイルスに關連した相談とそれ以外の相談について、電話相談を受けてくれる会員を募集し、それぞれの名簿を作成し、無料の電話相談を行うこととした。なお、自治体等で行う法律相談についても、電話相談にするように働きかけた結果、すべての自治体等で電話相談となった。

4月28日からは、当会関係者が感染した場合に備え、理事者と職員を2チームに分け、交互に出勤することとし、他チームの理事者と職員には接

触しないようにした。その間も、保育園受入に關する要望書、身体拘束に關する申入書、特別定額給付金に關する申入書、裁判所の期日に関する申入書を発出し、当会の意見を外部に伝えてきた。

その後、5月4日の緊急事態宣言延長を受け、当会会館の閉館も5月31日までとし、6月1日から再開するものの、一部の業務の減縮を続け、職員の勤務時間の短縮および時差通勤も継続することとした。相談センターでの相談も、当面は面談相談はせず、担当者が電話をかけて相談を行うこととした。

その後も、5月25日に緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの完全な終息はまだ先になると思われる。会館の利用や各種会合等については、しばらくの間は以前のようにはいかないが、安易にストップさせるのではなく、様々な工夫をして回復させていきたいと考えているので、会員の皆様にもご理解、ご協力をお願いしたい。

やりませ！開弁連定期大会

9月25日、12年ぶりに当会が担当する関東弁護士会連合会定期大会が横浜で開催される。コロナ禍の状況で全国各地の弁連大会が軒並み中止や延期となる中、災害対策に強い開弁連に、今期執行部の意向を受け容れてもらった結果、開催を予定どおりに強行することになった。

左部明宏会長を中心とする実行委員会と協力して、「スポーツにおける公正性・公平性」をテーマとした午前中のシンポジウムは、オンライン配信のみとし、午後2時からの定期大会は、会場とオンライン配信という史上初の「ハイブリッド方式」で開催する方向で準備中である。

パシフィコ横浜という会場の広さを活かして、実際に会場に集まる参加者を定員の3分の1以下とし、ご来賓についても、実際に会場に来てもらう方と、ビデオメッセージを寄せてもらう方に分ける等、これまでの慣例をすべて無視した新しいスタイルでの大会開催を目指しており、乞うご期待。

神奈川県のアウトライントと天秤をモチーフにした神奈川県弁護士会のロゴマークです。

山ゆり

緊急事態宣言が解除された。これまで直面したことのない事態に右往左往するばかりであったが、いずれにしろ、従前の生活形態に戻るのには随分先のことだと思われる。▼緊急事態宣言を機に、勤務先に出勤せずに勤務を行う、いわゆるテレワークといった新しい勤務形態が促進され、オンライン会議が多用される等、我々も、否応なしに当該対応を迫られた。折しも、ウェブ会議等のITツールを活用した争点整理が横浜地裁において開始されたと思われるが、今後は、オンラインでの会議、対応が急速に発展していくことになるとも思われる▼ただ、オンラインでは、人と対面するからこそ感じられた人の機微、本音を肌で感じにくいし、スイッチを切ると、フェードアウトなしに突然画面が消えて、シーンとなるあの感じがどうにも慣れず、何より自粛生活はそれなりにストレスを感じる▼この難局を乗り切るには、みんなで一致団結して協力しあうしかない！と思うが、現状、人と人の接触は可能な限り避けるべきで、寂しい限りである。今しかできないことに注力しつつ、息まわしい感染症が一日でも早く終息することを願ってやまない。

（青山 良治）



情報セキュリティを考える

はじめましょう

その23 Teamsのセキュリティ

今回は、e裁判で用いられる会議ソフトウェア Teamsのセキュリティについて、いくつかの注意点を話ししたいと思います。

1 常に最新バージョンの Teams を使うこと

PCで使うソフトウェアの常として、日々発見される脆弱性等に対し、マイクロソフトは定期的なパッチをリリースしています。そこで、Teams を使う際にも、それが最新バージョンであるかどうか

常に注意をしておきましょう。

なお、バージョンアップは、サインインをしていて自動でダウンロードされ、PCがアイドル状態の時にインストールされることになっています。

2 OSも最新バージョンを使うこと

OSが古いバージョンである場合、脆弱性が放置されている可能性があるため、最新バージョンを使いましょう。

3 二段階認証で安全なパスワードを使用すること

Teamsでは、二段階認証が採用されていますが、それらのパスワードは、パスワード生成ソフトなども利用して、安全なものを利用しましょう。

4 ファイル管理に注意

Teamsでは、二段階認証が採用されていますが、それらのパスワードは、パスワード生成ソフトなども利用して、安全なものを利用しましょう。

5 利用環境を整えること

PCのカメラでは、出席者の顔と共にその背景も写ってしまいます。Teamsの背景選択機能を利用して、不要な背景の写り込みを避けることも望ましいです。

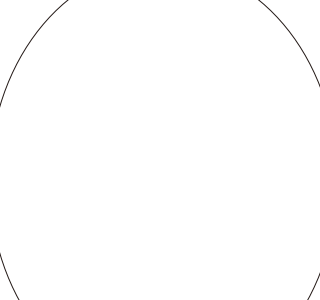
6 利用環境を整えること

さらに、事務所の配置によっては、ネットでの会話が第三者に聞こえてしまうことがあるので、イヤホンや指向性マイク、ヘッドセット等で工夫をしましょう。

7 利用環境を整えること

また、Teamsのセキュリティについては、Microsoftのセキュリティセンターで最新の脅威情報を確認することも重要です。

命を考えた



命を考えた

「障害者がいなくなればいい」と思った。2016年7月、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で発生した殺傷事件。元施設職員

の男の犯行動機に耳を疑ったことを鮮明に覚えている。

昨年8月、愛知県春日井市から横浜市へ異動になり、約半年後。自らがその裁判員裁判を担当することになった。

裁判取材はほとんど経験がなく、不安だった。ただ、なんとでも「見届けたい」という強い気持ちがあった。昨年亡くなった父が頭から離れなかったからだ。父は全身の筋力が徐々に弱

くなる筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断された後、数カ月で亡くなった。発症してからすぐに食事や排せつは

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

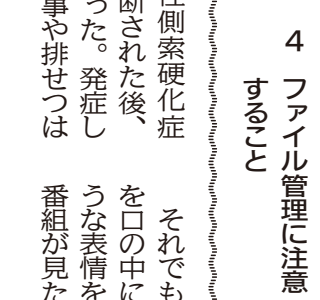
介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

命を考えた



命を考えた

「障害者がいなくなればいい」と思った。2016年7月、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で発生した殺傷事件。元施設職員

の男の犯行動機に耳を疑ったことを鮮明に覚えている。

昨年8月、愛知県春日井市から横浜市へ異動になり、約半年後。自らがその裁判員裁判を担当することになった。

裁判取材はほとんど経験がなく、不安だった。ただ、なんとでも「見届けたい」という強い気持ちがあった。昨年亡くなった父が頭から離れなかったからだ。父は全身の筋力が徐々に弱

くなる筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断された後、数カ月で亡くなった。発症してからすぐに食事や排せつは

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

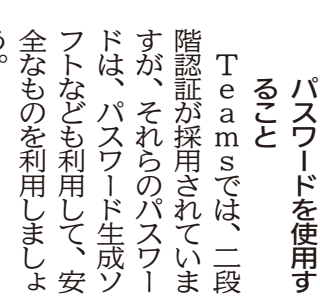
介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

命を考えた



命を考えた

「障害者がいなくなればいい」と思った。2016年7月、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で発生した殺傷事件。元施設職員

の男の犯行動機に耳を疑ったことを鮮明に覚えている。

昨年8月、愛知県春日井市から横浜市へ異動になり、約半年後。自らがその裁判員裁判を担当することになった。

裁判取材はほとんど経験がなく、不安だった。ただ、なんとでも「見届けたい」という強い気持ちがあった。昨年亡くなった父が頭から離れなかったからだ。父は全身の筋力が徐々に弱

くなる筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断された後、数カ月で亡くなった。発症してからすぐに食事や排せつは

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

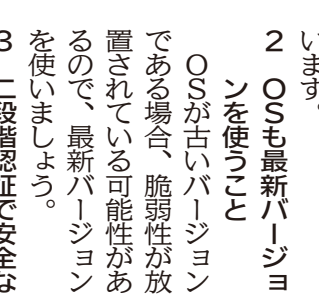
介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

命を考えた



命を考えた

「障害者がいなくなればいい」と思った。2016年7月、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で発生した殺傷事件。元施設職員

の男の犯行動機に耳を疑ったことを鮮明に覚えている。

昨年8月、愛知県春日井市から横浜市へ異動になり、約半年後。自らがその裁判員裁判を担当することになった。

裁判取材はほとんど経験がなく、不安だった。ただ、なんとでも「見届けたい」という強い気持ちがあった。昨年亡くなった父が頭から離れなかったからだ。父は全身の筋力が徐々に弱

くなる筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断された後、数カ月で亡くなった。発症してからすぐに食事や排せつは

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

介助が必要になり、施設に入所。次第に話すことも難しくなった。

理事者室 だより

60's 執行部、ICTと格闘中

副会長 小豆澤 史絵

5月28日、通常総会が開催された。会館5階と4階会議室、県西支部、相模原支部の4か所をテレビ会議でつないでの初の試みだったが、幸い大きなトラブルはなく終了した。

緊急事態宣言も解除され、ほっと一息ついた感がある(もちろん、油断は大敵です)。

しかし、副会長就任からまだ2か月というの信じられない。あまりにも非日常な経験

をしたからなのか、時間の感覚が普段と違う。緊急事態宣言より前の出来事は、遠い昔のことのようにだ。

5月号に掲載された副会長のインタビュー記事の中でもご紹介いただいたが、今期執行部は全員1960年代生まれ。IT音痴を自認するアナログ世代

緊急事態宣言下で始まった常議員会

会員 常磐 重雄 (55期)



三密防止の常議員会の様子

4月24日午後2時、緊急事態宣言の真つただ中で常議員会が開催された。当会会館は閉鎖されており、まず、インターホンで館内の職員に声をかけて初めて入館できる。館内はいつもと違い物静かである。

5階の大会議室を全部使って、大きく座る間隔を開け、窓も開放しての開催。いわゆる三密防止策である。

コロナ禍の中で、出席した会員は29名。県西支部の会員においては、テレビ中継での参加となった。39名の常議員がいるところ、定数3分の1以上なので、無事開催に至ることができた。

冒頭の二川常議員会議長からの「なるべく速やかに常議員会を終了させることにご協力いただきたい」との発言を受けて、議事進行がなされた。

ところで、今回の議案とも関連するのだが、当会会館がある土地は裁判所から借りていることにご存じだろうか?その地代が平成24年から令和2年までで約2・6倍になっていることについて、真剣に議論が交わされた。将来的には、会館の移転も視野に入れる必要があるかもしれない。

このように、常議員会では、会員の業務に影響のある事項について、真

編集後記

1年間理事者室に出向していた須山、青山両記者の復帰後最初の担当号である本号は、編集時期が緊急事態宣言と重なったこと等により2面編成となりました。班会議は慣れないWEB会議で、横道にそれたおしゃべりがほとんどでできませんでした。

- デスク 久保 義人
- 記者 青山 良治
- 久保田 辰
- 土居 久子
- 須山 園子
- 田鍋 智之
- 飯島 麻樹

常議員会

の い ま

丸山 耀平

丸山 耀平

丸山 耀平

丸山 耀平